

査読規定

(最終改訂：2020年5月1日)

1. 査読の目的

査読は、投稿された論文を公正かつ客観的に評価し、その学術的水準が EXPLOSION 誌及び Science and Technology of Energetic Materials (STEM) 誌に掲載されるに相応しいものであるか否かを判定することを目的とする。

2. 査読の対象

査読は、EXPLOSION 誌及び STEM 誌に投稿された全ての投稿論文を対象として行う。

3. 査読作業の手順

査読は、査読者を著者から秘匿して行う。

査読作業の手順は以下の通りとする。

- (1) 編集部による投稿論文の受付
- (2) 編集委員長による査読者の決定
- (3) 査読者から編集委員長への査読結果（採否判定）の報告
- (4) 査読委員長による掲載可否の決定および通知
- (5) 修正および再査読の決定

4. 査読者の決定

査読者は、次の手順によって決定する。

編集委員長が、投稿論文の内容に相応しい分野の査読候補者を、社員の中から選択し、査読を依頼する。

依頼された査読候補者が査読を受諾すれば、その者が当該論文の査読者として任命される。

査読候補者が受諾しなかった場合、編集委員長は新たに人選を行って査読依頼を行い、査読者が任命されるまで同じ手続きを繰り返す。

5. 査読の期間

査読の期間は、通常は、査読者が決定した旨を査読者に通知した日から 60 日以内とする。

査読に通常より時間を要すると判断される場合には、編集委員長の判断により、査読期間を延長することができる。

6. 査読の基準と採否の判定

査読者は、投稿論文の該当分野における研究状況を十分に考慮しつつ、公正かつ客観的な評価を下すことに努める。

その上で、この評価に基づいて、総合的に投稿論文の採否判定を行う。
査読者は、編集委員長に対し、査読結果を編集委員会が定める様式に従って報告する。

7. 掲載可否の決定と通知

掲載の可否は、査読者からの査読結果の報告に基づき、編集委員長の判断で決定される。

採否判定は、

- (1) Accept as it is (採択)
- (2) Accept with the minor revision (修正し採択)
- (3) Accept with the major revision and need additional review (修正・再査読し採択)
- (4) Reject (棄却)

とする。

ただし、査読者は、論文カテゴリーの変更（たとえば、Research paper から Letter への変更）の措置によって投稿論文の採択が可能なるか否かという点についても考慮し、その点について査読結果の報告の中でコメントするものとする。

決定結果は、直ちに執筆者に通知される。

なお、査読結果は、執筆者以外には公表しない。

8. 採否判定が(2)と判定された論文の取り扱い

(2)と判定された論文については、執筆者は、査読者及び編集委員長の指摘に従って原稿を修正し、指定された期日までに修正論文を提出しなければならない。

編集委員長は、提出された修正論文を精査し、十分な修正がなされていることが確認された場合には採択とする。

修正が不十分であれば、再度、執筆者に修正を求める。

また、編集委員長の判断により、修正論文について、再査読を行うことがある。

9. 採否判定が(3)と判定された論文の取り扱い

(3)と判定された論文については、執筆者は、査読者及び編集委員長の指摘を十分考慮しながら論文を修正し、指定された期日までに修正論文を提出しなければならない。

提出された修正論文について、原則として、一回目の査読と同一の査読者による再査読を行う。

以後、一回目の査読と同一の手順を、(1)、(2)または(4)と判定されるまで行う。

一般社団法人火薬学会
編集委員会